

放置せずに機能回復を



【問い】ここ数年、奥歯がなくなったままになっていますが、食べることには困らないので、そのままにしておいてもいいでしょうか。
(西彼長与町、60歳女性)

【答え】歯を失っても日常生活に支障がないと、放置する人は少なくありません。

近年、予防や健康に対する意識が高まり、むし歯がある人は少なくなってきたとはいえ、年齢を重ねるごとに歯を失うリスクは高くなっていきます。

歯を失う原因はいくつかありますが、年齢別に見ると、30代以下ではむし歯が多く、40代以降は歯周病の割合が増え、50代以降では歯周病が主な原因となってきます。

歯を失ったまま放置すると、隣の歯が傾いたり、かみ合っていた相手側の歯が伸びてきたりすることがあります。それにより、かむ力が低下し、残りの歯への負担が大きくなるため、かみ合わせの不調や他の歯を失うことにつながりかねません。これにより食べるのが不自由になり、さらにはさまざまな生活習慣病

などの発症につながるという、いわゆるドミノ倒しのよう
に問題が生じる可能性があります。
ります。なるべく早いうちに
治療をする必要があります。
歯を失った場合、ブリッジ、
入れ歯、インプラントなどに
よる治療によって、元々あつ
た歯の機能を回復させる必要
があります。

ブリッジは、固定式で本物の歯に比較的近いのですが、周りの歯を削る必要があります。適応する範囲にも限界があります。入れ歯はさまざまな形で作ることができますが、異物感が強いことや、かむ力が弱いということがあります。インプラントはかむ力が本来の歯に近く、周りの歯への負担が減りますが、外科的な処置、費用や時間が必要になります。それぞれの治療法には利点、欠点がありますので、かかりつけの歯科医師と相談して決めることをお勧めします。

むし歯や歯周病で歯を失う要因を少なくするために、歯科医院で定期的な検診を受けましょう。

質問をどうぞ

回答者
渡邊 威文
西彼長与町吉無田郷
渡辺歯科医院院長



歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒8052186001、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。